

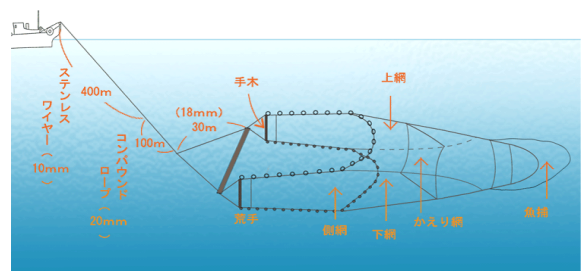
鳥取県の主な漁法

(沿岸漁業)

小型底びき網漁業

「ケタ網」と言われ、かつては本県沿岸漁業を代表する基幹漁業であったが、ヒラメ等の漁獲対象資源の減少により経営体数も大きく減少した。

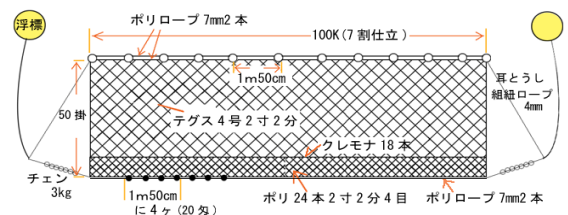
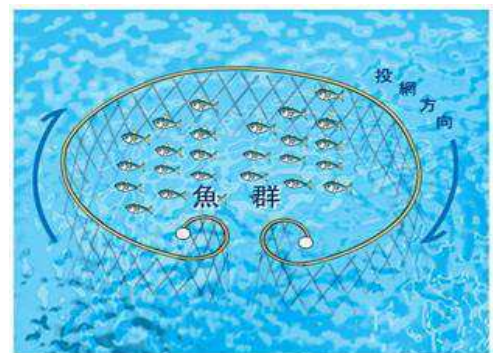
漁期	5月～翌年2月（県西部） 6月～翌年3月（県東部）
経営体数	50（2008年漁業センサス）
経営体の根拠地	境港市、鳥取市、岩美町、 湯梨浜町、琴浦町等
主な使用漁船	5トン未満 94kw（美保湾）、220kw（その他）
乗り組み員数	1名
1航海日数	1日
漁法	ケタと呼ばれるFRP製のビームを開口装置として取り付けた袋状の網で水深30～100mの海底をひいて漁獲する。
主な漁場	鳥取県沿岸
主要水揚港	境漁港、赤碕港、鳥取港、田後港
主な対象魚種	ヒラメ、メイタガレイ、ムシガレイ等



刺網漁業

古くからいくつもの刺網が行われていたが、ハマチやサワラ等の本県への来遊の増加に伴い今では本県を代表する基幹漁業となっている。

漁期	周年
経営体数	164（2008年漁業センサス）
経営体の根拠地	鳥取市、湯梨浜町、琴浦町 大山町、米子市等
主な使用漁船	10トン未満
乗り組み員数	1～2名
1航海日数	1日
漁法	固定式刺網、流刺網、まき刺網 こぎ刺網があり、魚道を遮断するように網地を張り下ろし、魚群を網目に刺させたり、網地に絡ませて漁獲する。
主な漁場	鳥取県沿岸
主要水揚港	酒津漁港、泊漁港、赤碕港、 御来屋漁港、淀江漁港他
主な対象魚種	マダイ、ハマチ、サワラ、マアジ ヒラメ、トビウオ、キス等



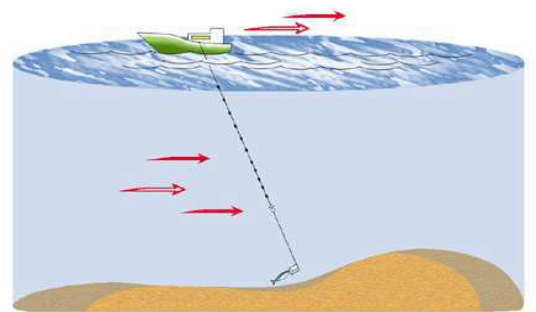
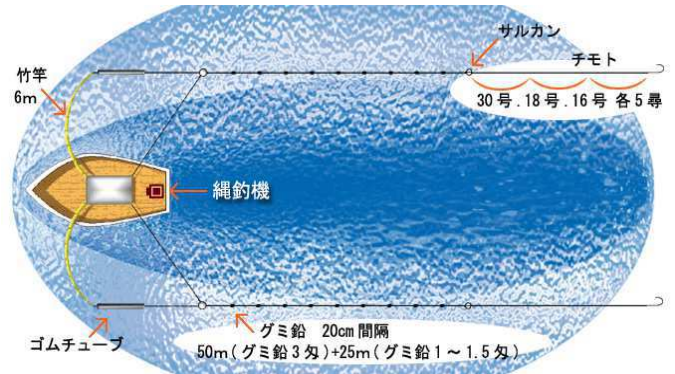
鳥取県の主な漁法

(沿岸漁業)

釣漁業

一本釣、ひき縄釣により砂底ではヒラメ等、岩礁域ではキジハタ、マダイ等、表中層域では、ハマチやサワラが漁獲される。

漁期	周年
経営体数	212 (2008年漁業センサス)
経営体の根拠地	鳥取市、岩美町、湯梨浜町、 琴浦町、大山町、米子市 湯梨浜町、琴浦町等
主な使用漁船	5トン未満
乗り組み員数	1名
1航海日数	1日
漁法	釣場の環境や対象とする魚種により多種多様な漁法が行われている。 近年ではサワラの来遊量が急増したため、サワラのひき縄釣が盛んである。
主な漁場	鳥取県沿岸
主要水揚港	鳥取港、泊漁港、赤碕港、 御来屋漁港、淀江漁港
主な対象魚種	ヒラメ、キジハタ、マダイ、 ハマチ、サワラ、マアジ、スズキ等



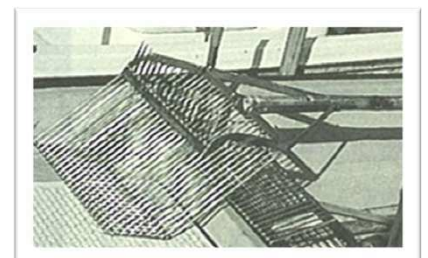
鳥取県の主な漁法

(内水面漁業)

シジミ漁

本県の内水面漁業を代表する漁業で漁獲量、漁獲金額とも突出している。

本県中部の東郷池でジョレンと呼ばれる金属製の漁具を用いて人力で池の底を引きかいて漁獲する。



その他の本県の内水面漁業は、河川上流域でのマス類の養殖、休耕田等を利用したホンモロコ養殖、県東部の湖山池でタモ網漁や定置網漁、さらに伝統漁法である石がま漁が営まれている。